

知事コメント

令和4年1月24日(月)

沖縄県におけるまん延防止等重点措置は1月9日から実施しており、2週間が経過しました。

人口10万人あたり直近1週間の新規陽性者数を見ると、1月18日に過去最多となる679.07人でしたが、昨日時点では553.49人で、感染拡大のピークは越えたものと考えられます。成人式を含む3連休での拡大を懸念しておりましたが、県民、事業者の皆様のご協力により、まん延防止等重点措置は一定程度効果が得られたといえます。

しかし、年齢階級別の新規陽性者数の推移を見ると、20代から30代は減少傾向がある一方、60代以上の高齢者層は増加傾向にあります。

特に70歳以上の高齢者の感染では、入院を要する重症・中等症の患者が急速に増加しており、入院調整が日増しに困難になるなど病床のひっ迫に繋がっております。

これから2月を迎えますが、2月の上旬には「旧正月」や「生年祝い」といった季節的なイベントや3連休が控えており、人の接触機会が増加し、感染再拡大が懸念されます。

そのため本日、対策本部会議を開催し、政府に対し、まん延防止等重点措置の期間を3週間程度延長するよう要請することを決定いたしました。

いま、重点措置を解除して、若年層における感染が再拡大した場合、地域医療は耐えられる状況にありません。

新規陽性者の減少傾向を維持するためには、まん延防止等重点措置を継続することが必要です。

これまでの流行を振り返ると、入院者数のピークは、新規陽性者数のピークから7日から16日、平均して13日程度遅れて訪れました。

また、新規陽性者数は増加時と同程度の期間をかけて減少していく傾向があります。

この傾向から、仮に1月18日が感染拡大のピークだとした場合、入院者数のピークは1月末頃になると想定されます。この場合、順調に新規陽性者数が減少しても、入院者数が国の基準指標である確保病床の50%の

324人を下回るのは、2月15日以降になると見込まれます。

感染者の減少及び医療体制の改善が想定以上に進んだ場合は、措置期間の前倒し解除や各圏域毎の措置解除も検討いたします。

これまでに多くの皆様から感染拡大防止対策にご協力いただいているところですが、もうしばらくご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

現在、ひっ迫しているのは、医療提供体制だけではありません。県内の高齢者施設等において感染が増加しており、昨日時点で90施設、施設内で療養されている陽性者は242人に及んでいます。

医療の支援を行っているところですが、機能維持のためには、その他の社会福祉施設からの応援も必要な状況となっています。

なお、沖縄県内の状況を踏まえ、厚生労働省は濃厚接触者となった介護職員が、毎日検査を行った上で陰性と確認されるなど一定の条件を満たした場合に限り、勤務を可能とする通知を出しました。

高齢者施設の事業者におかれましては、マスクの着用や場面の切り替わりを意識した手指消毒、換気の徹底など、感染対策の再確認と強化に改めて取り組んでいただくとともに、発熱や風邪症状がある職員の出勤自粛の徹底、県の実施する定期PCR検査の積極的な受検など、なお一層のご協力をお願いいたします。

また、高齢者のいるご家庭においては、今般の感染拡大の状況を踏まえ、ご家庭での対応が可能な場合は、できる限りデイサービスなどの通所サービスのご利用を控えていただくなど、ご協力をお願いします。

県としましても、引き続き社会福祉施設の感染拡大防止対策を支援していくとともに、1月28日(金)には県立武道館に設置しているモデルナ接種センターにおいて、医療従事者・高齢者施設等の従業者向け3回目接種を実施いたします。1日150名程度の接種が可能となっており、まだ予約枠に余裕がありますので、高齢者施設等の従業者の皆様におかれましては積極的に接種をご検討くださいますようお願い致します。

予約は県のホームページからのweb予約又はコールセンター(098-943-2993)への電話予約でお願いします。

ワクチンの追加接種については、重症化を予防する観点から、非常に重要であり、現在、高齢者施設等の従業者及び入所者を中心に接種を進めているところです。県としても、来週には北部、中部及び南部に広域接種セ

ンターを開設し、まずは高齢者の方々へ概ね2月から3月にかけて、市町村と連携して、積極的に接種を行ってまいります。市町村におかれましては、2回目接種から6ヶ月経過した方々への接種券を早期に発送いただくようお願いします。また、まだ1回目・2回目を接種していない方々に対しても、接種を呼びかけてくださいますようお願いいたします。

オミクロン株のこれまでの特徴を考えた場合、潜伏期間はインフルエンザ並み、ウイルス増殖のピークはインフルエンザより緩やかとみられます。

しかし、高齢者や基礎疾患のある方が重症・中等症となる事例も確認され、その感染力の強さからエッセンシャルワーカーが休業を余儀なくされることにより、社会機能維持を脅かしています。

引き続き県民の皆様には、基本的な感染防止対策への協力やワクチン接種の積極的な検討を、よろしくお願いします。